

地域資源/環境研究機能

資源を知る・守る

PFでの独自研究、外部研究者、企業との共同研究など
積極的な研究活動を行い論文を執筆。

知財と人のネットワークを蓄積、充実 など

森里海調査・研究事業

志津川湾に生息する海洋生物の標本収集、環境調査、生物相調査
従来は行っていなかった森里の調査・研究 など

「森里海ひとのベストバランス」調査・研究事業

「森里海ひとのベストバランス」についての現状アセスメント

栄養塩、ミネラル、クロロフィル等、ベストバランスの定点観測と評価 など

新技術調査・研究事業

新技術が必要なサステイナブルアクションについての(ペレット製造
や熱電変換など)技術的な基礎検討

南三陸サステナビリティブランド 推進協議会

成功事例を作る



①研究機能で得た成果(環境分析や魚貝類の成分分析など)をどのようにブランドに活かしていくか南三陸のサステナビリティブランドとしてどのようにルール作りを進めていくかを検討する協議会。

②ブランド確立後もブランド維持のための議論、管理を行っていく。

議論の例)

南三陸サステナビリティブランド認定について

各生産者の海域における

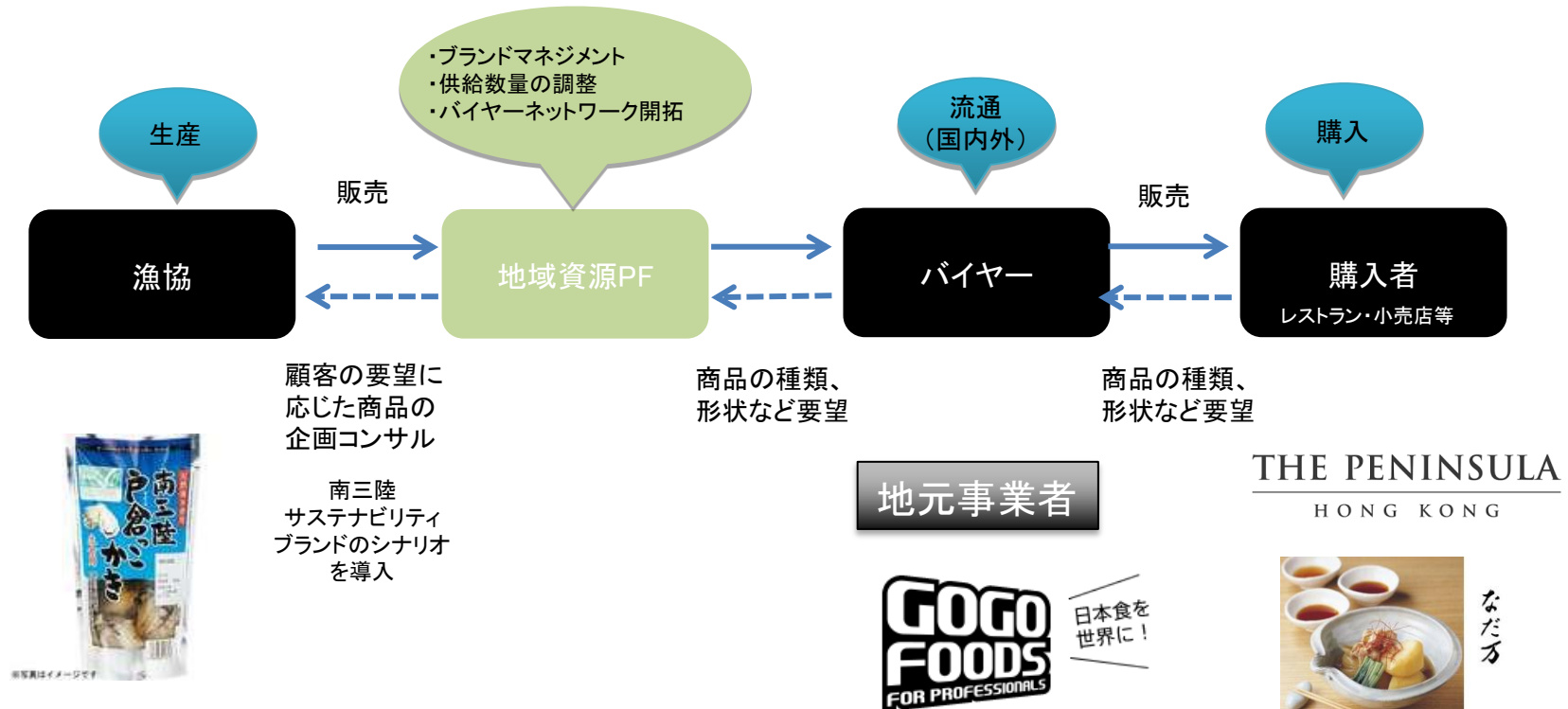
- ・栄養成分分布
- ・汚染度
- ・生態分布
- ・海産物の成分 を数値として測定。

各数値がどのような値に収まっていればベストバランスを満たしているとしてブランド認定可能か？を協議したい。

成功事例をつくる

サステイナブル・アクション(ビジネス)の成功事例を作るために
一次生産者～消費者のバリューチェーンを作る地域商社機能を持つ

例1) ASC認証の牡蠣の商品化・販路開拓



例2) 南三陸杉を使った商品、ペレット、ペレットストーブ、新技術を用いた プロダクトの販路開拓

次世代人材育成事業

担い手を育てる

資料3:地域資源プラットフォーム 各事業について

サステナブルアクションを起こす次世代の担い手育成のため、対象者別に以下の教育プログラムを企画実施する。

| 対象 | カテゴリ | 内容 |
|------------------------------|-------|--|
| 幼児・小中高生(町内) | 授業 | 総合的な学習の時間などを利用し、毎年授業の中で“南三陸サステナビリティ学”について座学&フィールド学習する機会を設け住んでいる町の魅力を発見してもらう。 |
| 新入社員職員教員(町内) | 研修 | 毎年、企業や役場、学校などの新入研修を開催し、南三陸における構成員としての行動基準として森里海に優しい(低負荷)人や企業になるための方法を学ぶ機会を設ける。 |
| 事業者若手社員(町内) | 研修 | 自社ブランド開発などの実事業において後継者、右腕社員を巻き込み次世代の担い手とするための研修を実施。持続可能性を打ち出した商品企画の在り方などを学ぶ。 |
| 観光業に携わる人(町内) | 検定 | 南三陸のガイドや語り部、宿泊施設などの観光、またはASC、FSC商品の流通/小売に携わる人を対象に、“南三陸サステナビリティ学検定(仮称)”を開催し、南三陸の取り組む持続可能社会について学ぶ機会を設ける。 |
| 中学・高等学校 (町外私学、海洋関係高等学校など) | 教育旅行 | 教育旅行の受け入れを行い、南三陸の取り組む持続可能社会について学ぶ機会を設ける。 |
| 大学生・来訪者 (町外海洋関係の大学・ゼミなど) | 学習ツアー | 毎年夏と秋にハイレベルなツアープログラムを開催し、南三陸の取り組む持続可能社会について学ぶ機会を設ける |
| 事業者(主に町外企業新入社員) | 研修ツアー | 毎年春に町外企業向けに「新入社員研修」を開催し、これからの時代を創造する社会人として必要な心得として、南三陸の取り組む持続可能社会について学ぶ機会を設ける |
| 子ども～大人 広く一般 (町内外) | 常設展示 | 南三陸の取り組む持続可能社会の考え方について常設展示し、誰もが学びたいときに気軽に立ち寄って学べる機会を設ける。 |

次世代人材育成事業

資料3:地域資源プラットフォーム 各事業について

常設展示イメージ

地球は今どうなってる？



解説パネル
エネルギー消費
CO2
乱獲
人口爆発
など

脱石油の切り札:木質ペレット



解説パネル
ペレットストーブ
ペレットの展示

持続可能な生活とは



解説パネル&
環境に優しい生活用品の展示
例:海に流しても環境/生物への
影響が少ないシャンプー

南三陸の漁師による取組



解説パネル
養殖棚
養殖縄の展示

持続可能な自然の状態を
測定する最新のドローンテクノロジー



解説パネル
ドローン展示

南三陸杉は
なぜ良質になるのか

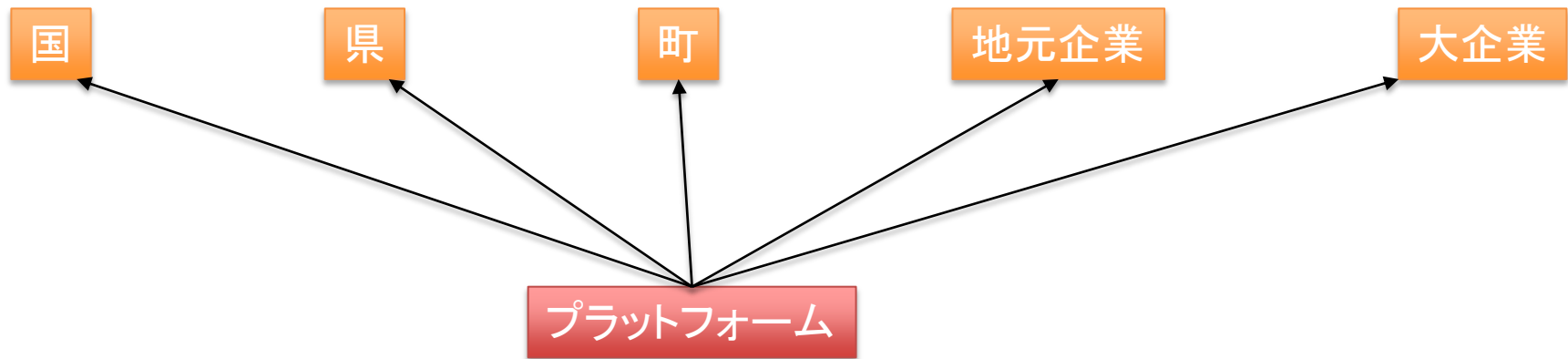


解説パネル
南三陸杉の展示

政策提言機能

マルチセクターで協働する

サステナブルアクションを起こす行政や企業を増やしていくための政策提言を行う



例)町、大企業への提言

本PFのベストバランス調査によれば、海外に比べて海洋環境のうちリンが大変不足している。これは無リンの洗剤が普及している影響である。

××社の石けんを町として推奨することでリンの成分が海に戻り海洋生物の成育が良好になる可能性がある。大企業は多少リンを含む商品をラインアップして欲しい。

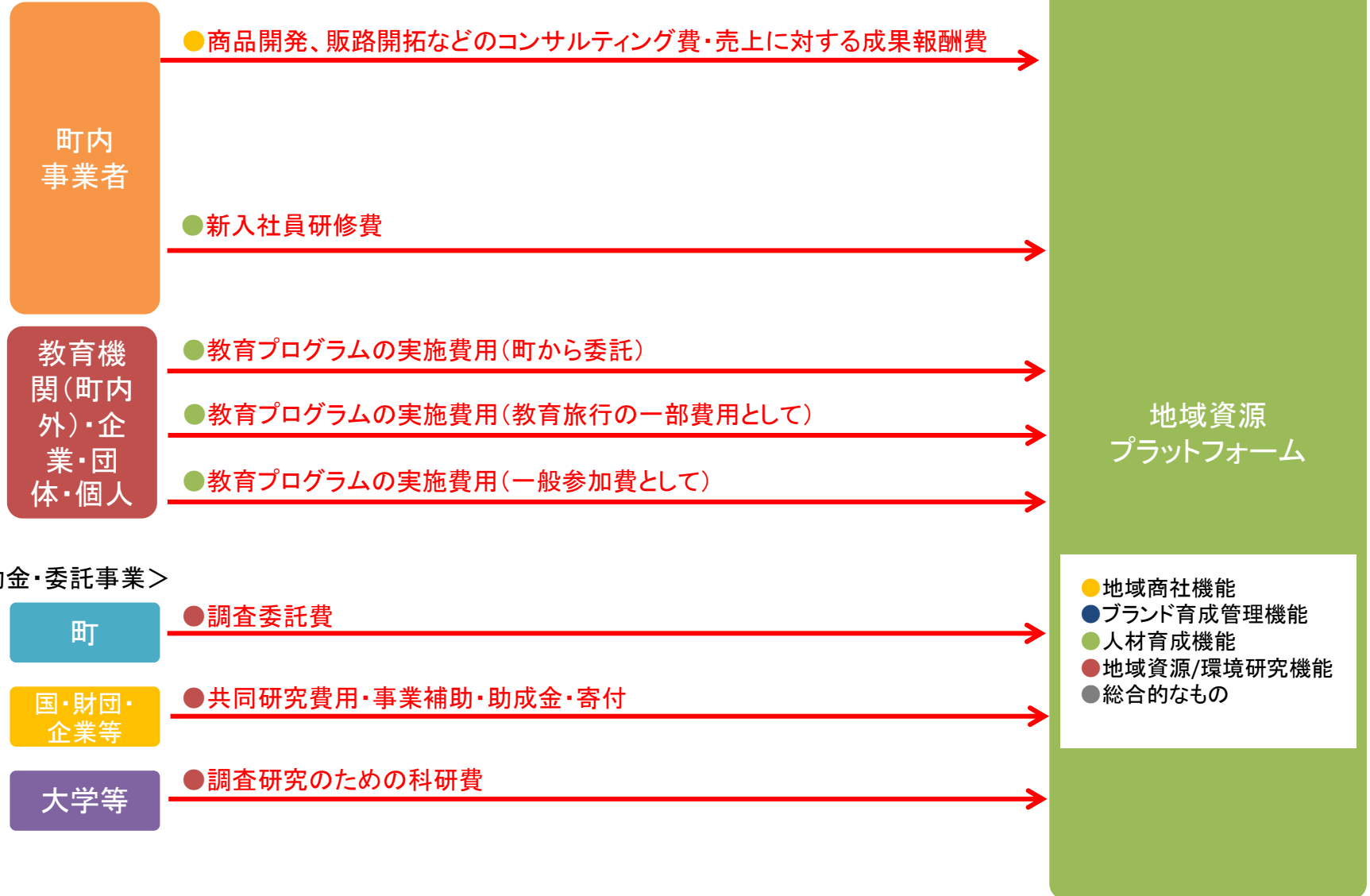
例)町、国への提言

××省より依頼を受け、東北大学の××先生とのドローン×ITによる山の生育状況調査の結果、町内の間伐が山によっては行き届いておらず山の生物多様性にも悪影響を与えていること数値的に明らかとなった。

町としてペレット事業の推進に力を入れ、地産地消型の木材消費を増やす必要がある。

南三陸地域資源プラットフォーム ビジネスモデル

<自主事業>



実施体制

- 営業・マーケティング 1～2名(主にブランド推進事業)
- 研究員・トランスレーター 2名(主に研究および人材育成事業、政策提言)
- 総務・経理 1～2名(バックオフィス)
- 広報(一部営業も兼ねる) 1名(主に人材育成事業)

合計7名の実施体制